

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 いちき串木野市

標準税収入額等: A	普通交付税額: B	臨時財政対策: 債発行可能額C	標準財政規模: A+B+C
4,045	4,232	379	8,656

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	13,950	13,507	443	423	463	21,763	
一般会計等	13,950	13,507	443	423		21,763	

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金見込額	備考
水道事業会計	421	382	39	462	-	2,481	2	法適用
国民宿舎事業会計	489	268	221	4	240	317	88	法適用
簡易水道事業特別会計	199	199	0	-	32	1,280	850	
地方卸売市場事業特別会計	10	10	0	-	5	72	18	
公共下水道事業特別会計	912	911	1	-	306	5,711	3,969	
戸崎地区漁業集落排水事業特別会計	12	12	0	-	7	190	233	
国民宿舎特別会計	249	246	3	3	16	131	2	
国民健康保険特別会計	4,731	4,609	122	122	353	-	-	
介護保険特別会計	2,873	2,823	50	50	370	-	-	
老人保健特別会計	4,367	4,356	11	11	351	-	-	
居宅介護サービス事業特別会計	119	97	22	22	-	-	-	
交通災害共済特別会計	5	3	1	1	5	-	-	
公営企業会計等 計				675		10,182	5,162	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(Δ~)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入金見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入金見込額	備考
いちき串木野市・日置市衛生処理組合	506	493	13	13	17	624	520	
鹿児島県市町村総合事務組合	17,523	17,362	162	162	2,957	-	-	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合	1,005	933	72	72	-	-	-	
一部事務組合等 計				247		624	520	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
いちき串木野市土地開発公社	Δ 8	192	5	-	-	1,040	-	102	
地方公社・第三セクター等 計			5	-	-	1,040	-	102	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		873	
減債基金		425	
その他充当可能基金		399	
充当可能基金 計		1,697	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化基準	財政再生基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	3.89	4.88	0.99	Δ 13.59	Δ 20.00	水道事業会計		111.7	
連結実質赤字比率		12.68		Δ 18.59	Δ 40.00	国民宿舎事業会計		1.6	
実質公債費比率	17.7	17.5	Δ 0.2	25.0	35.0	簡易水道事業特別会計		-	
将来負担比率		158.8		350.0		地方卸売市場事業特別会計		-	
財政力指数	0.43	0.45	0.02			公共下水道事業特別会計		-	
経常収支比率	97.3	98.2	0.9			戸崎地区漁業集落排水事業特別会計		-	
						国民宿舎特別会計		1.8	

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(Δ~)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 Δ20%である(公営競技は0%)。